

ポップ? ポップ! ポップ♡

コレクションに見るポップなアートの50年

ポップ(pop)という言葉には、「大衆の」、「流行の」といった意味があります。1960年代のアメリカでは、このポップという言葉にアートが組み合わされた、「ポップ・アート」という美術が誕生しました。

その特徴は、広告や商品パッケージ、漫画の一場面など、人びとが普段の生活で目にするイメージが美術表現に取り込まれていることです。美術とは全く関係なく生産され、多くがすぐに消費されていくイメージを美術表現として提示したのです。

アンディ・ウォーホルやロイ・リキテンスタインらによって展開されたその表現のあり方は、美術の枠組みを大きく広げ、現代の美術はもちろん、元々は典拠であった商業的なイメージにまで影響を与えています。

今回の展覧会では、当館の所蔵品を中心に、アメリカにおけるポップ・アートの展開を紹介するとともに、明るいつけかえや明確な構図、機知に富んだイメージの転用など、その手法や表現に影響を受けた日本人作家の作品を紹介します。またポップ・カルチャー(大衆文化)とも密接に関わり合いながら表現を広げる現代の美術作品も紹介します。およそ50年にわたるポップなアートの展開をお楽しみください。

1. トム・ウェッセルマン《シー・スケープ#8》1966年
©Estate of Tom Wesselmann / VAGA, New York & SPDA, Tokyo, 2011
2. 森村泰昌《だぶらかし 肖像A》1988年
3. 井田照一《Drink》1968年
4. パラモデル《極楽百景 第八景 一新世界 八重勝 ニュー配達一》2007年
©paramodel photo; paramodel courtesy of MORI YU GALLERY

関連事業

- 講演会「アメリカ美術の世紀」
講師：池上裕子(神戸大学国際文化学研究所准教授)
日時：4月29日[金・祝] 14時から(13時30分開場)
場所：2階ホール(聴講無料、先着順120名)
- フロア・レクチャー(学芸員の展示解説)
日時：5月4日[水・祝]、5月8日[日] 14時から
場所：2階展示室(要観覧券)

同時開催

- コレクション展2011-春 開催中-6月12日

次回展覧会

- なつやすみの美術館 7月2日-8月28日

県立博物館(とりの)の展覧会

- 華麗なる紀州の装い-かみ・ひと・ほとけをつなぐ- 4月23日-6月5日
 - 葛城修験の聖地・中津川行者堂の文化財 6月11日-7月18日
- *詳しくは同館(tel.073-436-8670 fax.073-423-2467)まで



〒640-8137 和歌山市吹上1-4-14 [和歌山城むかい]

Tel.073-436-8690 Fax.073-436-1337

<http://www.bijyutu.wakayama-c.ed.jp/>

交通：JR和歌山駅または南海電鉄和歌山駅からバスで約10分「県庁前」下車、徒歩2分

駐車場：1時間まで200円、以降30分ごとに100円



和歌山県立近代美術館

The Museum of Modern Art, WAKAYAMA

